


事業者名	公益財団法人地域社会振興財団			
導入機器名	蛍光相関分析装置			
写真				
設置場所	地域社会健康科学研究所			
特徴・用途	<p>蛍光相関分光法の原理を用いて溶液中の分子間相互作用を1分子レベルで観測可能。生体受容体と受容体に結合する分子を観察し、薬に繋がる化学物質を探す。(対象難病:下垂体機能低下症)</p>			
利用状況	年月	稼働日数 (日)	利用回数 (回)	主な利用内容
	平成29年3月	0	0	解析に用いる試料を作成した。
	平成29年4月	20	20	機器の感度を確認した。解析条件を決めるための予備実験を行なった。
	平成29年5月	10	12	解析条件を決めるための予備実験を行なった。
	平成29年6月	23	42	解析条件を決めるための予備実験を行なった。蛍光試料の性質を向上させる必要があることが判明した。
	平成29年7月	21	29	蛍光タンパク質を発現させた細胞を用いた測定の実験条件検討を行なった。
	平成29年8月	15	31	蛍光タンパク質を発現させた細胞を用いた測定の実験条件検討を行なった。
	平成29年9月	16	19	薬物の受容体に蛍光タンパク質を融合させた試料で計測を行なった。結果より新たな分子間相互作用が考えられた。
	平成29年10月	11	15	薬物の受容体に蛍光タンパク質を融合させた試料で計測を行なった。
	平成29年11月	9	9	当初計画した試料の一部は、水に溶けにくく扱いにくいことが判明したため、試料にさらに工夫を加えたものを作成することとした。
平成29年12月	11	19	受容体同士の相互作用に新たな知見を見出した。	
補助事業概要の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/koueki/h28/pdf/28-1-062.pdf			

事業者名	公益財団法人地域社会振興財団			
導入機器名	医用超音波顕微鏡			
写真				
設置場所	地域社会健康科学研究所			
特徴・用途	<p>生体組織観察において、①音速測定モードでの生体組織切片の音速分布の測定が可能。②音響インピーダンスモードでの切り出した組織表面の音響インピーダンス分布の測定が可能。(対象難病:診断、治療に生検を必要とする腹部難病)</p>			
利用状況	年月	稼働日数 (日)	利用回数 (回)	主な利用内容
	平成29年2月	0	0	機器納入・設置
	平成29年3月	0	0	機器初期設定・調整・周辺機器設定
	平成29年4月	0	0	機器調整
	平成29年5月	1	10	機器調整, 予備実験
	平成29年6月	6	140	実験動物の肝臓の解析を行った。
	平成29年7月	4	70	実験動物の肝臓の解析を行った。
	平成29年8月	7	320	実験動物の肝臓の解析を行った。機器の調整作業を行った。
	平成29年9月	6	75	実験動物の肝臓の解析を行った。
	平成29年10月	5	50	実験動物の肝臓の解析を行った。
	平成29年11月	5	70	実験動物の肝臓の解析を行った。
	平成29年12月	4	55	実験動物の肝臓の解析を行った。
補助事業概要の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/koueki/h28/pdf/28-1-062.pdf			